

# タティングレースの帯留



デザイン/佃一美

<作り方>

①タティングレースの各パーツを作ります。

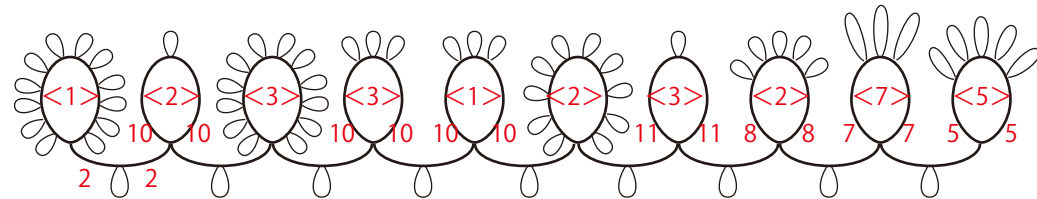
A: ブレード /

ピコットの間は、指定以外全て2目。

リングを編み、段数マーカーに糸を通してブリッジを編みます。

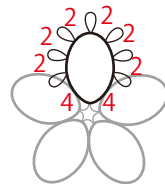
リングのピコットはリングの中の数字のゲージで、そのゲージの長さで編んでください。

ブリッジのピコットは<1>のゲージで、1mmの長さで編みます。3本編みます。



B: モチーフ / すべて<2>のピコットゲージを使います。

1 段目

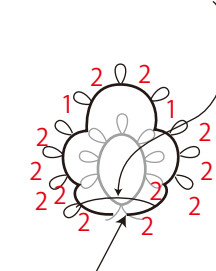


5枚とも同じように編みます。



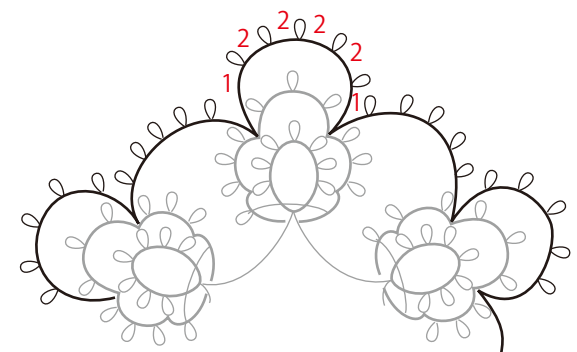
2 段目

花びらを二つ折りにして最初のピコットに芯糸(シャトルの糸)をジョイントします。



1 段目の花びらと花びらの間に芯糸(シャトルの糸)をジョイント。

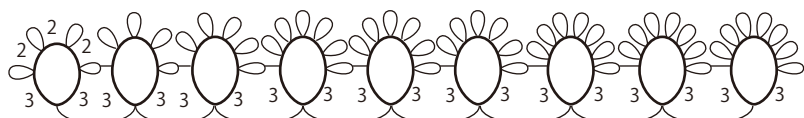
3 段目



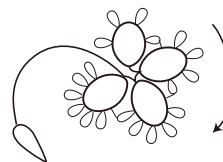
<用具> タティングシャトル  
ピコットゲージ  
ぬい針、段数マーカー

<材料> くるみボタン<オーバル55> 1個  
くるみボタン用布(麻) 8cm×8cm  
オリムパス 金票40番レース糸  
白(802)またはミックス(M8)  
ビーズ、ナツメ型ビーズ  
ぬい糸  
糸始末リキッド<タティングレース用>

C: モチーフ／すべて<3>のピコットゲージを使います。ピコットの間は全て2目です。3つ編みます。

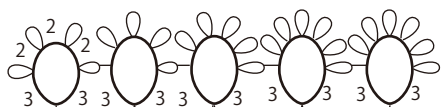


実際は間をあけずに、続けてすぐ隣のリングを編みます。

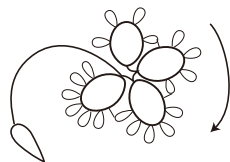


このようにくるくと編んでいきます。

D: モチーフ／すべて<3>のピコットゲージを使います。ピコットの間は全て2目です。カラフルは3つ、白は2つ編みます。



実際は間をあけずに、続けてすぐ隣のリングを編みます。



このようにくるくと編んでいきます。

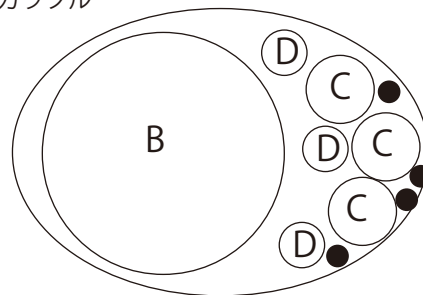
③くるみボタン用にカットした布にレースを縫いつけていきます。ボタン表面に出る部分にしるしをつけておきます。まず、まわりにAのブレードを、ブリッジのピコットの位置でぐるりと縫いとめます。

④Bのモチーフはお花の形にビーズを付けながら縫いとめ、C・Dのモチーフは、図を参考にバランス良く配置し、●の位置にビーズやナツメビーズを縫いとめます。くるみボタンに仕上げて完成です。



Bのモチーフ  
4mm パールビーズと  
4mm ナツメパールを  
左写真のように付けながら  
縫いとめます。

カラフル



白

